

とにしただど。

そこで、そのおやじさんは、

「私はこれから、下の村まで出掛^でけて来るので、囲炉裏^{いろり}で火をたいて暖^{あたた}まって行^いってくん
つえ。」

と言って、出掛^でけて行^いっただど。

旅人は、うす暗い明りと囲炉裏^{いろり}の火の燃^もえるのを見つめながら、一人淋^{さび}しく待^{まち}っていた
だど。

ふと、家の中を見渡したら、奥の方にポーとわずかな明りが見えただど。

息をころしてじつと目を見据^みえたら、時々か細い腕^{うで}が出てきて、何か物を取^とっているよう
なんだど。

取^とっては引^ひつ込^こめ、取^とっては引^ひつ込^こめしているんだど。

何^{なに}だか気味が悪^{わる}くな^なってきただど。